市役所 51－0123　暮らしのたより

おしらせ

看護学生の募集

国立東静病院附属看護学校では、昭和63年度の入学生を募集します。

募集人員　50人　**修業年限**　3ヵ年

受験資格　高等学校を卒業した者及び昭和63年3月卒業見込みの者で、心身ともに健康な者。

願書受付　昭和63年1月5日～20日

試験日　昭和63年2月3日(水)

試験科目　面接、健康診断、学科試験（数学Ⅰ、国語ⅠとⅡ、生物か化学）

入学に関する書類は、70円切手を貼付したあて先明記の長形3号の返信用封筒を同封し、〒411 駿東郡清水町長沢762の1 国立東静病院附属看護学校（☎0559－75－2000）へ。

第21回 富士市総合文化祭

☆パピー（4階催事場）

・絵画　10月14日(水)～19日(月)

☆富士文化センター

・毛筆、水石（第1・第2会議室）
10月16日(金)～18日(日)

・盆栽、茶会（ホワイエ）
10月16日(金)～18日(日)

・七宝、染色（展示室）
10月16日(金)～18日(日)

・川柳（第5会議室）　10月17日(土)

・演劇（ホール）
10月17日(土)　18:00～20:30

・音楽（ホール）
10月18日(日)　第1部9:00～13:30
第2部14:00～16:30

☆吉原市民会館

・華道（第1会議室）
10月23日(金)～25日(日)

・写真（第2会議室）
10月23日(金)～25日(日)

・硬筆（第3会議室）
10月23日(金)～25日(日)

・陶芸（第4会議室）
10月23日(金)～25日(日)

・フラワーデザイン（第5会議室）
10月23日(金)～25日(日)

・民踊（ホール）
10月23日(金)　17:30～20:30

・詩吟（ホール）
10月24日(土)　17:30～20:30

・邦楽（ホール）
10月25日(日)　12:00～16:30

・民謡（ホール）
10月25日(日)　16:45～20:30

・茶会（ロビー）　10月25日(日)

☆旧松永家住宅

・染織　10月24日(土)、25日(日)
染織の実演は博物館工芸室

・俳句　11月3日(火)

☆鷹岡公民館

・謡曲（ホール）　10月25日(日)

・茶会（和室）　10月25日(日)

・短歌（ホール）　11月1日(日)

・8ミリ映画（ホール）11月7日(土)

問い合わせ先　文化体育課　内線2722

税金の相談は税務相談室へ　☎64－2330

小型はかり集合定期検査

商取引または証明に使用しているはかり(1,000㍉以下）は、受検してください。

持ち物　はかり（新しく購入したものも含む)、受検票、検査手数料

問い合わせ先　商業労政課　内線2593

とき	検査会場	時間
11月9日(月)	富士市農協大渕支所	10:30～15:00
〃 10日(火)	富士市農協元吉原支所	10:00～15:00
〃 11日(水)	須津公民館	10:00～15:00
〃 12日(木)	富士市農協吉永支所	10:00～15:00
〃 13日(金)	富士見台公民館	10:30～15:00
〃 16日(月)	富士市農協原田支所	10:30～15:00
〃 17日(火)	富士市農協今泉支所	10:00～15:00
〃 18日(水)	市立体育館	10:00～15:00
〃 19日(木)	伝法公民館	10:00～15:00
〃 20日(金)	市立体育館	10:00～15:00
〃 24日(火)	市立体育館	10:30～15:00
〃 25日(水)	鷹岡公民館	10:00～15:00
〃 26日(木)	富士西農協駅南支店	10:00～15:00
〃 27日(金)	田子浦公民館	10:00～15:00
〃 30日(月)	岩松公民館	10:30～15:00
12月1日(火)	岩松公民館	10:00～12:00
〃 2日(水)	西図書館	10:00～15:00
〃 3日(木)	西図書館	10:00～15:00
〃 8日(火)	西図書館	10:00～15:00
〃 9日(水)	西図書館	10:00～12:00

ダイヤル市政案内 ☎52－1111

児童手当の10月期口座振込日は10月15日です

問い合わせ先　児童課　内線2326

園芸コーナー

木の実遊び
「木の実・木のまま」の楽しみ

庭木の実が色づき、北のほうからは、紅葉の便りも届きます。10月は、行楽のシーズン。紅葉や秋の味覚を訪ねて野や山へ出かけることが多くなる季節です。

さて、今回紹介する「木の実・木のまま」は、自然と親しみ楽しむ一つの方法です。

秋の山や公園では、子供たちはもとより、大人もドングリ拾いに夢中になったことがあると思います。しかし、そのドングリも、何個かがコマや笛に化けるぐらいで、多くは「こんなにたくさん拾った」で終わるのではないでしょうか。ところが、ただ拾うだけでなく、どの木から落ちてきたのだろうか、どんな帽子をかぶっていたのだろうかなど、同時に調べるようにすると、立派な観察になります。ドングリの帽子にはいろいろなタイプのあることに気づいたり、ドングリのつき方にも、種類によって差があるといった発見もしたりするのです。

そこで、イメージを生かして記念の品につくりかえます。

ドングリになれずに終わったマテバシイの帽子はくっついています。じっと眺めていると、それがカエルの顔に見えてきて、「カエルの合唱団」の誕生となります。種類ごとに備わっている雰囲気を見つけ出し造形に生かしてみるのも、意外な発見に導いてくれるものです。

「かえるの合唱団」